

熊谷市史編さん委員会・編集会議・専門部会 報告

(令和五年一月～一二月)

I 熊谷市史編さん委員会報告

令和四年度第二回熊谷市史編さん委員会

日時 令和五年三月二十九日(水) 午後一時三〇分開会
場所 市立商工会館 三階三号室

【概要】

○議 事

〔報告事項〕

次に掲げる事項について、報告を行った。

① 各専門部会の活動について

本年度(令和四年度。以下、本項において同じ。)における各専門部会による調査等の活動の状況について、順次報告を行った。なお、部長が当委員会の委員で、

かつ、今回の会議に出席している専門部会(近世、近代・現代(荻野吟子に関する調査報告書担当に係るものを除く。))については当該部会長から、それ以外の専門部会等(中世、仏像・仏画、地形・地質・気候、荻野吟子に関する調査報告書担当)については事務局から、それぞれ報告した。

② 事務局(市史編さん室)の活動について

令和四年一二月までに事務局において行った古文書等の調査及び整理、学校資料の調査、行政文書(歴史公文書等)の整理及び保存、市政宅配講座等への職員の派遣等の活動の状況について、報告を行った。

③ 『熊谷市史 調査報告書 仏像・仏画2』について

令和五年度に刊行を予定している『熊谷市史 調査報

告書 仏像・仏画2』について、事務局から、同書の体裁（判型、ページ数等）や掲載を予定している内容、編集の進捗状況及び今後の予定等について、説明及び報告を行った。

〔審議事項〕

次に掲げる事項について、審議を行った。

前回の、本年度第一回の会議（令和四年一月二三日開催）において事務局からの説明及び委員による審議を行った、熊谷市教育委員会からの諮問（「熊谷市史編さんについて（熊谷市史編さん大綱）」の改定について）※1に関して、その改定の内容について各委員から特段の異議等が出されなかったことを踏まえ、事務局において作成した答申案（主旨「熊谷市史編さん大綱」の改定内容を適当と認める。）について審議が行われた。

この中で、「熊谷市史編さん大綱中の「熊谷市史編さん刊行計画」（以下、「刊行計画」という。）の改定案にある①「大里地域」とは、旧大里町を指すのか、それとも大里郡を指すのか、②江南地域（旧江南町）の取扱いはどのようになるのか、との質疑がなされた。これに対し、事務局から、「①旧大里町を指すものである。②

江南地域（旧江南町）については、市町合併の前に詳細な町史が刊行されていることを踏まえ、通史編や普及版、さらに、同町史において取り上げられていない仏像・仏画等の巻について、現行の市史編さんの対象とする」旨の答弁を行った。なお、この質疑を踏まえ、これらの点がより分かりやすくなる注釈等を刊行計画中に加えることとし、これに基づく答申の修正案を後日各委員宛て送付して、意見を聴取することとした。^{※2}

答申案のこれ以外の部分について、特に修正等すべきとの意見はなく、その大要については原案のとおり了承がなされた。

※1 諮問の内容（大要）については、『熊谷市史研究』第一五号一三四ページを参照。

※2 委員長と事務局において検討した結果、刊行計画の表の欄外に次の二つの注釈を加えることとし、これを反映した答申の修正案を四月一三日付けで各委員宛てに送付した。これについて修正意見等はなく、全委員からの了承を得た。

▽「範囲・内容等」欄における「熊谷地域」「大里地域」「妻沼地域」は、平成一七年の市町合併以前の各市町の区域を指す。

▽ 江南地域（平成一九年の熊谷市への合併以前の江南町の区域）については詳細な町史が刊行されていることを踏まえ、通史編、普及版及び歴史年表、並びに同町史において取り上げられていない指定文化財、仏像・仏画及び民俗芸能（映像版）については、平成一九年の市町合併後の熊谷市を対象とする。（このほか、自然編においては、必要に応じて江南地域についても記述する。）

なお、令和五年七月四日に開催された七月定例教育委員会において、この修正案の了承に基づく答申について報告するとともに、この答申に基づく「熊谷市史編さん大綱」の改定について提案し、異議なく議決がなされた。

令和五年度第一回熊谷市史編さん委員会

日時 令和五年一月二三日（木・祝）午後二時開会
場所 市立商工会館 二階三号室

【概要】

○委嘱状交付

新任期の初回の会議に当たり、新たに委嘱した当委員
会委員（二一名、再任者を含む。）のうち出席者九名に
対し、野原晃教育長から委嘱状を交付した。

なお、新委員の方々は、次のとおり。（敬称略）

小林 國章 （市議会議員）

小林 拓朗 （市議会議員）

黛 千羽鶴 （文化財保護審議会委員）

老川 慶喜 （知識経験を有する者）

北村 行遠 （知識経験を有する者）

島津 弘 （知識経験を有する者）〔欠席〕

西口 由子 （知識経験を有する者）

宮瀧 交二 （知識経験を有する者）〔欠席〕

平井 加余子 （市民団体の代表者）

丸岡 孝夫 （市民団体の代表者）

小林 江梨花 （公募による市民）

○委員長及び副委員長の選出

互選により、委員長に北村行遠委員が、副委員長に老川慶喜委員が、それぞれ選出された。

○議 事

〔説明事項〕

新任期の初回の会議に当たり、次に掲げる事項について、事務局から説明を行った。

① 熊谷市史編さん委員会について（所掌事務、組織、

委員の任期等)

- ② 熊谷市史編さんについて（熊谷市史編集委員、熊谷市史編さん大綱、各専門部会等）

〔報告事項〕

次に掲げる事項について、報告を行った。

- ① 各専門部会の活動について

本年度（令和五年度。以下、本項において同じ。）における各専門部会の調査等の活動の状況について、部長又はそれに代わる方（以下「部会長等」という。）が当委員会の委員で、かつ、今回の会議に出席している専門部会（近世、近代・現代、仏像・仏画）については当該部会長等から、それ以外の専門部会（中世、地形・地質・気候）については事務局から、それぞれ報告を行った。

- ② 事務局の活動について

本年度、これまでの期間に市史編さん室が行った活動のうち、古文書等の調査及び整理に関することを中心に、事務局から報告を行った。なお、参考として、市史編さん室における古文書の調査及び保存措置の方法等に関する説明を併せて行った。

〔協議事項〕

本年度刊行予定の『熊谷市史 調査報告書 仏像・仏

画2』について、同書の編集を担当している熊谷市史仏像・仏画専門部会所属の編集委員（専門調査員）である西口委員から、その概要（体裁、内容等）、編集の進捗状況等に関する説明を行い、委員の意見を求めた。

質疑、意見等は特になく、委員長から、年度末の刊行に向け、滞りなく編集作業が進められることを期待する旨の発言がなされた。

（文責 大野 幸人）

Ⅱ 熊谷市史編集会議報告

令和四年度熊谷市史編集会議

日時 令和五年三月二十九日（水）午後三時三〇分開会
場所 市立商工会館 三階三号室

【概要】

○議長の選出

互選により北村委員を議長に選出した。

○議事

次に掲げる事項について、報告を行った。

① 経過報告

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和元～三年度まで会議を開催できなかったため、この三年間における計画の変更等について説明を行った。

② 令和四年度各専門部会の活動状況

本年度（令和四年度。以下、本項において同じ。）における各専門部会による調査等の活動の状況について、順次報告を行った。近世、近代・現代（荻野吟子に関する調査報告書担当に係るものを除く。）については当該席部会長から、それ以外の専門部会等（中世、仏像・仏画、地形・地質・気候、荻野吟子に関する調査報告書担当）については事務局から、それぞれ報告した。

③ 令和四年度事務局活動報告

令和四年一二月までに事務局において行った活動の状況について、報告を行った。

④ 令和元～四年度刊行書籍について

全体概要を事務局から、『熊谷市史 資料編5 近世1』については北村委員から、『熊谷市史 調査報告書 荻野吟子―その歩みと出会い―』については事務局からそ

れぞれ説明を行った。

委員からは、表紙の文字や写真のキャプション等に不自然な箇所があり、事務局の確認作業が不十分ではないかとの意見が出された。

⑤ 令和五年度の予定について

『熊谷市史 調査報告書 仏像・仏画2』について、事務局から説明を行った。

委員からは、写真のトリミング方法等についての意見が出され、担当の専門部会に伝えてほしいとの要望があった。

（文責 蛭間 健悟）

Ⅲ 専門部会活動報告

一 中世専門部会

中世専門部会長 高橋 修

中世専門部会は、平成二四年度に『資料編2 古代・中世』を、平成三〇年度に『通史編上巻 原始・古代・

中世』を刊行し、本編についての編さんを完了している。また、令和三年度には、中世石造物担当班が『調査報告書 中世の石造物』を刊行した。

現在は、『調査報告書 直実・実盛伝説』の編さんを行っている。

令和四年度第一回『調査報告書 直実・実盛伝説』編集会議

(令和五年三月六日 オンライン)

本書の編集等に関するスケジュールや方針について協議し、次のように決定した。

- ・「軍記物語」各本、「絵伝」類が、当書の中心となる。
- ・この二分野については、幅広く掲載する。
- ・掲載資料について『熊谷市史 資料編3』と重なるものは、原則として『資料編3』での掲載としたい。
- ・仏像については、全国各地の代表的なものを掲載する。ただし、市内のもので、『調査報告書 仏像・仏画』に掲載されているものは、それを参照してもらおう。
- ・系図については、意味のある代表的なものを数点を掲載する。

・石造物や絵馬については、市内にあるものはできるだけ掲載する。

・近世作の直実ゆかりの品々は、数が多いため原則として取り扱わない。

・近世の軍記物語の出版物は、中世からのものとそれほど変わりはないため、挿図等のみ掲載する。

・近代以降の絵画は取り上げない。前近代の絵巻は、できる限り掲載する。

・原則として、直実、実盛の子どもたちの代までを対象とする。

・江戸時代より前に成立した伝承等は、調査を予定する。

まずは、それぞれの担当が、大まかな史料リストを作成して次回会議に持ち寄り、検討することとした。

二 近世専門部会

近世専門部会長 北村 行遠

令和五年は、四月から新たに三名の編集委員(専門調

査員)を迎え、『熊谷市史 資料編3 近世1(熊谷地域編 上)』(以下、『資料編3』という)の刊行に向けて活動した。収録史料の選定と翻刻作業、巻全体の構成の吟味を進めた。

専門部会会議の開催は、令和四年度の第二回と第三回、令和五年度の第一回で、令和五年度内には今後二回の部会会議(第二回を令和六年一月、第三回を同三月)を行う予定である。

また、市史編さん室(事務局)の近世担当職員の交代に伴い、部会代表者と新たな近世担当者の顔合わせ・打合せを四月一日に、令和五年度第二回専門部会会議の準備となる『資料編3』編集担当者(巻担当者)を中心とする打合せを一月二四日に行った。

以下、専門部会会議での活動概要を記す。なお、令和四年度第二回専門部会会議の内容については『熊谷市史研究』第一五号に紹介済みなので、ここでは割愛する。

令和四年度 第三回専門部会会議

(令和五年三月二四日)

1 事務局報告

古文書調査の進捗状況及び受入れ状況を説明。

2 『資料編3』の編集・刊行

各編集委員が、担当する章に関する作業(史料選定、章構成など)の進捗状況を報告し、近世専門部会として情報共有を行った。そのうえで、採録史料や章構成について全体的な検討と方向性について議論した。また、『資料編3』全体の構成・内容のバランスから、現状で手薄と考えられる分野があり、その分野の補完のために新たに二名の編集委員を迎えることとし、部会として了承した。

3 今後の活動・その他

熊谷市外に所蔵される各種史料の調査について、今後適宜検討していくこととした。各編集委員は史料選定と入稿に向けた筆耕を鋭意進め、筆耕原稿を市史編さん室へ順次提出していくものとした。また、『熊谷市史研究』第一六号に、編集委員の論文一本をエントリーすることを確認した。

令和五年度 第一回専門部会会議

(令和五年七月二五日)

1 事務局報告

古文書調査の進捗状況を説明、立正大学古文書研究会との共同調査研究事業の継続を報告。

2 『資料編3』の編集・刊行

採録史料の選定・筆耕状況と、各編集委員の行う史料筆耕原稿の提出期限について確認を行った。入稿のための史料筆耕を迅速に進めるため、筆耕協力者等を編さん室が手配し、委員からの筆耕依頼を受け入れる体制を構築することとした。

また、引き続き史料選定を進めつつ、採録史料に基づいた本巻の構成について、次回の会議での検討に向け、各委員が具体的に検討してい構想を練っておくものとした。熊谷直実を取り上げる本巻付録と中世専門部会編集の『調査報告書 直実・実盛伝説』相互の内容のすみ分けについて、確認を行った。

3 今後の活動・その他

当面、各自が史料選定・筆耕に専念し、できあがった筆耕データを市史編さん室へ提出していくことを確認した。選定・筆耕の進捗状況を見ながら、第二回の部会会議を設定することとした。

三 近代・現代専門部会

近代・現代専門部会長 老川 慶喜

近代・現代専門部会では、『熊谷市史資料編6 近代・現代1 熊谷地域編上』及び『熊谷市史資料編7 近代・現代2 熊谷地域編下』（以下、「資料編7」という。）の刊行に向けて活動を行った。

まず、主な活動として専門部会会議を二回（一月・八月）、『資料編7』の担当者会議を二回（七月・一月）開催した。

また、熊谷市行政文書及び熊谷市行政古文書、新聞記事等の調査を随時実施した。その他、埼玉県立文書館を始めとした関係機関等においても所蔵資料調査を行った。

令和四年度第二回近代・現代専門部会会議

（令和五年一月二二日 市立商工会館）

①令和四年度第一回『資料編7』担当者会議の報告

図書の刊行までの大まかなスケジュールや作業内容の確認等、会議中に協議した事柄等について報告した。

②目次及び掲載資料リストの検討

最新の掲載資料リストをもとに、各編集委員が進捗状況について説明し、不明点等を協議して認識の共有を図った。

③今後の活動について

刊行時期に近い『資料編7』の担当者会議については随時開催し、専門部会会議は夏頃に開催を予定することとした。

令和五年度第一回『資料編7』担当者会議

(令和五年七月二十九日 市立熊谷図書館)

①編集委員の解職及び補充について

編集委員の逝去、活動休止等に伴う補充について協議を行った。その結果、教育分野の担当に元東京福祉大学短期大学部教授で元熊谷市立成田小学校長の福島裕氏が推薦され、また、交通分野の担当については、新たに部会長が加わることとなった。

②体裁及び目次・掲載資料リストの検討等について

本の体裁については、総頁数約八五〇頁、横書きとすることが提案された。付録や頁数の割振り等については、今後の検討課題となった。

③今後の活動について

今回の会議は、令和五年一月二十九日に開催予定とした。

令和五年度第一回近代・現代専門部会会議

(令和五年八月一九日 市立商工会館)

①令和五年度第一回『資料編7』担当者会議の報告

新たに福島裕氏を編集委員(特別調査員)に推薦するとともに、交通分野の担当に部会長が加わることに、さらに、書籍の体裁等(総頁数、横書き等)について了承した。

②編集委員の解職及び補充について

故小林壽朗編集委員が担当されていた治水分野に関する今後の対応について協議した結果、新たな担当者として、元深谷市立明戸小学校長の大澤章一氏が推薦された。

③目次及び掲載資料リストの検討

配付資料を基に、作業を進める上での不明点や懸念等について協議し、熊谷染を文化の項で扱うこと等が決定

した。

④ 今後の活動について

編集委員から資料調査の要望が出された市内の企業等に対し、事務局から調査を依頼することとなった。

次回の会議は、令和六年一月二〇日開催予定とした。

令和五年度第二回『資料編7』担当者会議

(令和五年一月一九日 市立熊谷図書館)

① 熊谷市史編集委員に対する委嘱状交付

新任の福島裕、山本喜久治両編集委員(特別調査員)に委嘱状が交付された。

② 体裁等について

一頁の行数及び文字数、表の載せ方等について協議した。

③ 目次・掲載資料リストの検討について

複数の分野で採り上げている項目や重複している資料の扱い等について協議した。

なお、各編集委員は、令和六年三月末までに担当分の掲載予定資料に優先順位を付けることとした。

③ 今後の活動について

次回の会議は、令和六年四月二〇日に開催予定とした。

討報

近代・現代専門部会において御活躍くださった小林壽朗編集委員が七月一六日に、笠原健司編集委員(六月二〇日辞任)が七月二二日に逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈り申し上げます。

四 地形・地質・気候専門部会

地形・地質・気候専門部会長 島津 弘

1 概要

地形・地質・気候専門部会では、令和八年度に刊行予定の『熊谷市史別編3 自然編1 地形・地質・気候』(以下「別編3」という)の編集に向けた資料の探索が主な活動となった。

各編集委員と事務局の双方で資料の整理及び探索を行い、専門部会会議において共有を行った。また、会議以外にも、クラウド等を利用して資料を共有した。

2 編集会議の開催

令和五年においては、編集会議を三回開催し、別編3に掲載する内容(目次)等の検討や担当箇所決定を行った。以下、各会議における議事の概要、決定した事項等を記載する。

○令和四年度第二回専門部会会議(令和五年二月一四日市立江南文化財センター)

① 掲載内容(目次)について

別編3に掲載する内容について議論を行った結果、第一章「地形」、第二章「地質」、第三章「水環境」、第四章「気候」、第五章「災害」、第六章「人間活動と自然」という、大筋の目次案を決定した。また、各章の細かな内容については、第一章のみの検討とし、他の章については、次回の会議まで各編集委員が検討を行うこととした。

② 各編集委員の担当項目について

各編集委員が主として執筆等を担当する項目について議論を行ったが、会議時間の関係もあり、大まか

な担当について検討し、確定は次回会議以降に行うこととした。

○令和五年度第一回専門部会会議(令和五年五月三一日立正大学熊谷キャンパス)

① 掲載内容(目次)について

令和四年度第二回会議において決定した別編3の大筋の目次案を基に、細かな目次案について検討を行った結果、第一章の最初に「総説」を設けることとした。第二章は、前回会議において決定した章立てをそのまま入れることとした。

また、細かい内容について、第二章の「地質」以降の検討を行った。併せて、執筆に必要な資料やデータの探索についても検討を行った。

② 各編集委員の担当項目について

前回の会議において決定した章を参考にしながら、各編集委員が主として執筆等を担当する章について議論を行った結果、以下のように決定した。

・島津 弘 専門委員 第一・二章
 ・井上素子 専門調査員 第六・七章

- ・北沢俊幸 専門調査員 第三章
- ・八戸昭一 専門調査員 第四章
- ・渡来 靖 専門調査員 第五章

○令和五年度第二回専門部会会議（令和五年一月二二

日 立正大学熊谷キャンパス）

① 掲載内容（目次）について

前回の会議結果を踏まえ、別編3の全ての章における詳細な内容を決めることを目標に議論を行った。しかし、現時点では探索できた資料が少なく、掲載する項目を確定することが難しいため、節以下の細かい章立てについては、今後検討を行うこととした。

② 令和六年度における調査について

大筋の目次を参照しながら、各項目の執筆等のために必要な資料について検討を行った。さらに、これらの資料を収集する担当者についても議論を行い、それぞれ決定した。

また、次回（令和五年度第三回）の専門部会会議を、令和六年三月末までに開催することとした。

五 仏像・仏画専門部会

仏像・仏画専門部会長 林 宏一

1 仏像・仏画悉皆調査

平成二四年度から調査を開始し、令和五年度は一二年目となる。

調査内容は、写真撮影や寸法・形状・材質等を記した調査カードの作成等である。この一年間で二五〇点程度の仏像・仏画等の調査を終えた。一二年間の累計では、四、〇〇〇点超の調査を行ったことになる。

令和五年に調査を実施した箇所は、以下のとおりである。

- 1 樋春真光寺（二月二〇日）
- 2 小江川満讚寺（二月二〇日、三月一七日）
- 3 中奈良後原公会堂（三月一七日）
- 4 千代普門寺（五月一六日）
- 5 新堀宝性寺（五月一六日）
- 6 籠原南大正寺（六月一九日）
- 7 塩常安寺（九月一二日）
- 8 籠原南大正寺（観音堂）（一〇月三〇日）

9 野原文珠寺（十一月二〇日）

10 板井宝光寺（十一月二〇日）

11 成沢静簡院（十二月一日）

このほか、西別府安楽寺九品仏堂の阿弥陀如来像九体の修理を担当した株式会社翠雲堂の笠間幸治郎氏に、修理の際の資料の閲覧を依頼したところ、一〇月三〇日、妻沼展示館に資料や写真等を携えて来室され、編集委員、協力員及び別府地区の方々に、資料を見ながら説明をしていただいた。

最後に、所蔵者、自治会関係者、笠原氏、協力者等の多大なる御協力に対して、心からお礼申し上げます。

2 『調査報告書 仏像・仏画2』の編集

『調査報告書 仏像・仏画』については、全三巻の刊行を予定しており、すでに令和元年度に第一巻を刊行したが、今年度に第二巻を刊行する予定である。これについての編集会議を三回実施した。

1 令和五年度第二回編集会議 四月二一日

場所 妻沼中央公民館

2 令和五年度第三回編集会議 九月一二日

場所 妻沼中央公民館

3 令和五年度第三回編集会議 十二月四日

場所 妻沼中央公民館

なお、本書の執筆は、部会長、原口雅樹専門調査員、西口由子専門調査員が担当した。写真の選定や報告書のレイアウト等についてもこの三名が行い、すでに、最終校正段階に入っている。